

# 放課後等デイサービス自己評価表

《事業者向け》

放課後等デイサービ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			適切である
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切ではあるが、プログラムや子どもによっては必要な時がある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			エレベーターが設置されバリアフリー化ができています
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			平常時は午前中に検討の時間が確保できているが、長期休暇など、終日の利用がある時は、その時間が確保ができないことがある点 が今後の課題である。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者との個別面談の機会を設け、またアンケート調査なども活用し、保護者の意向の把握に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			法人HPIにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	今後、行っていく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			法人内の他事業所との合同の研修会に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			指導員によるモニタリングと保護者面談により、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		かかりつけ医での評価が保護者より届いている児童に関しては確認しているが、その他は使用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			必要に応じて行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			子どもの意見や取り組む様子を見てマンネリがないようにしている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			事前に決め取り組んでいる
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			フロアを分け、集団と個別で内容を分けて支援している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝礼にて確認・報告をしている
	⑯	支援開始後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			緊急性が高いことは当日中に、その他は翌日に振り返り・報告をしている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			徹底し、行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			半年に1回、モニタリングを実施している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	<input type="radio"/>			行っている

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管と現在の職員で参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		基本は保護者を通してだが、必要に応じて学校とも連携している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在対象児がいらないため連絡体制は整えていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		引き継ぎの会議に参加している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		引き継ぎの会議に参加している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		協議会主催の研修に参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	企画していくことが目標である
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳の活用、送迎時の伝達、会議で報告している
保護者への説明責任	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		送迎時や面談時に保護者の話に耳を傾け、保護者の気持ちがあはぐれることで、対象児が安定していくように努めている。
	㊀	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に確認している
	㊁	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時や面談時に保護者の話に耳を傾け、事業所にて話し合いをしたうえで必要な助言や支援をしている。
	㊂	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今後の目標であるが、今回行った面談で保護者にその件について触れてみたが、必要と思われる方があまり多くない印象であったため、あり方の検討も必要と感じている。
	㊃	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		管理者に情報を一元化し、適切に対応している。
	㊄	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		季刊通信を発行している
	㊅	個人情報に十分注意しているか	○		注意している
	㊆	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		している
	㊇	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後の目標である
	㊈	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		研修会を設け周知徹底している

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人全体で職員研修会を実施し、職員が参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象児がいいため現在行っていない。今後については、上記研修会等にて検討していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	契約時や、面談時に保護者に確認している。医師の指示書がある児童は今のところいないが、今後は指示書があればそれに基づいた対応をしていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有している